

駅周辺の再整備イメージ
 “将来の駅前広場の整備イメージを共有しよう！”

6月2日(金)18:30~20:30
 DMG MORI やまと郡山城ホール

第3回

NEWS LETTER

〒639-1198 大和郡山市北郡山町248番地4
 大和郡山市役所都市建設部都市計画課
 担当：まちづくり協定推進室
 TEL：0743-53-1151 (内線672)
 E-mail：tosikei@city.yamatokoriyama.lg.jp

ワークショップの内容を市民の皆さんにお知らせするため、ニュースレターを毎回発行しています！

将来の駅周辺の賑わいの中心となる駅前広場について話し合いました！

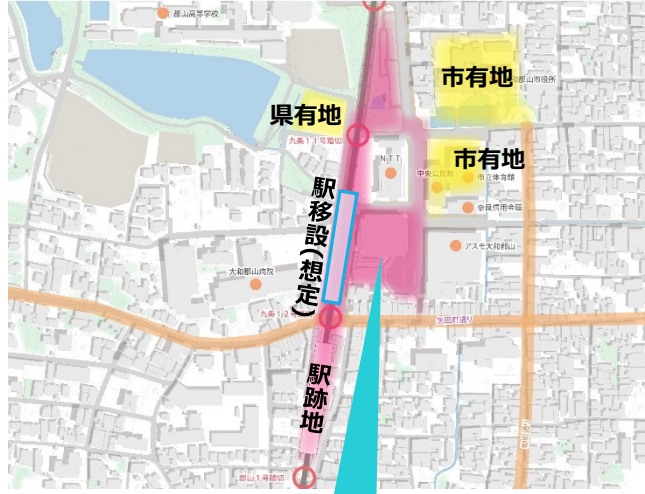
第1回、第2回ワークショップでは、「北に移設される駅の周辺をどんな所にしていきたいか？」や「将来の駅周辺で何をしたいか？」など、駅前広場の使い方や活動のイメージ、駅周辺に欲しい機能などについて、ご意見をいただきました。

これまでのWSのご意見を踏まえると

将来の駅周辺の賑わいの中心となるのは、
 『人の動きや活動が感じられる広場的なオープンスペース』

今回のワークショップでは、「駅前の賑わいの中心はどこにもってくるのが良いか？」について、次の4つの配置案を例に話し合いました。

駅や駅周辺で想定される今後の再整備と公共用地



A案 広場を南側に集約



郡山城との連携を重視した案
 →郡山城側にまとまった広場

商店街との連携を重視した案
 →矢田町通り付近にまとまった広場

B案 広場を北側に集約



郡山城・商店街両方との連携を重視した案
 →こじんまりした広場

C案 広場を西側に集約



駅全面との連携を重視した案
 →駅方向に細長い広場

D案 広場を分散



今回のワークショップでは、これらの中から一つの案に絞るのではなく、それぞれの配置案のメリット、デメリットや新たな課題について意見を出していただきました。
 今回いただいたご意見を踏まえ、市民の皆さんに使っていただきやすい駅前広場の整備案を検討していきます。



テーマ「駅周辺の再整備のイメージ」

駅前の賑わいの中心は、どこに持ってくるのがいいですか？

会場の様子

A グループ

- ・賑わいの中心は商店街に近い方が良い
- ・A案は、まちのシンボル(お城、紺屋町)とのつながりが弱い
- ・B案は広場から東へ向かう時に車道を渡らなければならない
- ・広場として最低限のまとまりは欲しい
- ・人の集まる仕掛け(屋根)があれば、広場は小さくても良い
- ・広場は駅に直接面した方が良い。広場と駅間に道路が通らない方が良い
- ・細長いところに店があれば良い
- ・バリアフリーの面からも駅とバス乗り場や高齢者用車寄せは近い方が良い
- ・夜のイベントは音が心配

商店街の近くに賑わいの中心

まちのシンボルとのつながり

など



B グループ

- ・広場は時間帯(朝・昼・夕)での利用の違いを踏まえて計画すると良い
- ・車が混雑しない交通機能を確認したうえで、広場空間を確保
- ・広場の機能は駅とまちをつなぐ動線、集う場所、矢田町通りへの誘導
- ・広場から人を南側へ誘導できると良い(D案がイメージに近い)
- ・駅前広場にすべてを集めない
- ・矢田町通りは今の雰囲気が良い
- ・大きな広場より小さい広場があれば良い
- ・(遠足等で児童が100人集えるくらいの広さ)
- ・集まる人を増やすためには、住人を増やすことも必要

広場からまちへ人を誘導

広場の大きさ

など



C グループ

- ・A案は、道路に近い方に交通空間があるので、広場を広くとれて良い
- ・B案は、郡山高校生の通学動線上に広場があるので、高校生は使いやすい
- ・C案は、広場とアスモの間に交通空間があるが、アスモへの動線が確保されれば良いのではないかと
- ・D案のように、城下町の特長を活かして広い空間をあえてつくりたいのも良い
- ・D案は広場が分散しているため、回遊が起きやすくなるかもしれない
- ・部活や地元団体の発表の場として活用したい
- ・駅前広場空間は、歩道と車道の段差をなくしてほしい
- ・駅前広場を立体的に利用することはできないか

城下町の空間特性を活かした広場空間づくり

など



D グループ

- ・D案のように、ごんまりした広場が分散してくねくね道でつながると、広さや使い勝手が良い広場になる
- ・広場の地面の仕上げは工夫が必要。芝生など子どもが遊べるものが良い
- ・広場とロータリーは段差をなくすなど柔軟に広場の大きさを変えられる工夫があると良い
- ・広場から三の丸緑地へのアクセスを良くして、三の丸緑地も活性化させたい
- ・広場で夜に外に出て楽しむ活動をしたい。屋外映画鑑賞など
- ・大きなイベント等は、城ホールなど他に使える施設・場がある。棲み分ける
- ・小さな広場で夜も明るければ、最近ブームのストリート系スポーツもできる
- ・軽音楽、ブラスバンドなどの部活の発表で気軽に使える場が欲しい

広場の地面の仕上げも重要!

など



A～D案には一長一短あり、空間の広さも使い方次第なので、何を重視するかによって答えは変わってきます。既存のイベント(郡山音楽祭、ひなまつり等)で駅前広場をどのように活用できるか考えてみたり、他の地域の例を参考にして潜在的需要を掘り起こすアイデアも考えられるでしょう。ワークショップの延長で、賑わいをつくっていくためのエリアマネジメントが始められると良いですね。



アドバイザー
久先生
より